

第1学年 技術・家庭科（技術分野）学習指導案

日 時 平成17年11月1日（火）5校時
学 級 1年4組（男19名 女19名 計38名）
場 所 コンピュータ室
授業者 教諭 高橋 裕紀

1. 題材名 B情報とコンピュータ 「自分のWebページをつくろう」

2. 題材について

(1) 教材観

「B情報とコンピュータ」では、コンピュータ活用に関する基礎的な知識や技術を習得し、それらを適切に活用する能力や態度を育てることを目指している。インターネットには利用できるさまざまなサービスが用意されている。情報の多くはWebページによって公開され、あらゆる情報をわかりやすく工夫して制作されている。また実際インターネットを利用した生徒も自分のページを作って自由に表現してみたいと感じる生徒も少なくない。さらにその制作したWebページを公開できる場を与えることによって、情報発信の能力を養うきっかけになる。単なる自己満足に終わらせず、生徒間の情報のやり取りができる場とすることができる。この制作を通して自分が伝えたいことをWebページに表現し、コンピュータ室内ネットワークによる情報発信を体験することによって、情報を収集、判断、処理し、発信できる能力を育て、お互いの取り組みを公開（発表）し合える情報交換の場にもできると考えた。

(2) 生徒の実態

実態調査では、生徒たちのおよそ6割の家庭にはパソコンがあり、パソコンを自宅や学校で使い始めたのは小学校の1～2年生と答えているのが半数以上である。そして、8割以上の生徒が4年生までに使い始めている。インターネットを利用し始めたのが3～4年生と答えているのが6割以上であった。ソフトウェアの利用で多いのは、図形処理ソフト、文書処理ソフト、教科の学習ソフトの順になっている。このことから、生徒たちは中学校入学段階ですでに十分コンピュータに慣れ親しんできている。

これまでの「B情報とコンピュータ」の授業にはどの生徒も意欲を持って取り組んできた。ソフトウェアの利用では文書処理ソフトウェアと図形処理ソフトウェアを利用し「案内状」を作成してきた。生徒たちの能力の差は、キーボードによる入力の差に現れており、ローマ字入力の苦手な生徒がそのまま作品の進度に現れていた。作品の出来栄には満足している生徒が多いので、さらに一人ひとりの考えを生かしながらWebページの制作に取り組ませたい。

(3) 指導観

Webページの制作を主題材として取り上げ、その題材の特性を生かした学習指導を通して、確かな知識と技術の習得及び問題解決能力の向上が図れると考える。基礎・基本となる事項の学習を体系的に積み重ね、課題設定を段階的に高めていく学習を成立させるため、ページごとに異なるテーマで構成される複数ページからなるWebページの制作を主題材とした。複数ページからなるWebページの制作は、ページごとに異なる課題を設定することで「計画 実践 評価」のサイクルもページごとに位置づけることができる。繰り返される課題解決的な学習により学び方が身に付き、さらに段階的に高められる課題設定によって、他の課題へも生かせる問題解決の能力を身につけることができると考えた。完成したWebページはその目的からも校内での活用に限定し、インターネットによる公開はしないこととした。またWebページを制作するソフトウェアとしては、操作手順の指導が最小限ですむことや、完成した作品の見栄え、定められたスペースに効率よくまとめることができる点などから「ホームページミックス学校版」を活用することとした。

3. 題材の目標及び題材の評価計画（8時間扱い）

（1）題材の目標

生活や技術への関心・意欲・態度	・著作権などの知的所有権を尊重しながら、自分の表したいことを Web ページに進んで表現しようとする。
生活を工夫し創造する能力	・目的に応じたソフトウェアの機能の選択や見る人にとって分かりやすい表現の工夫ができる。
生活の技能	・Web ページの制作を通して、知的所有権に配慮しながら自分の表したいことを表現し作品としてまとめることができる。
生活や技術についての知識・理解	・Web ページの制作を通して、Web ページによる情報発信の特徴や基本的な知的所有権を理解できる。

（2）題材の評価計画

時	学習内容	観点	評価場面	評価規準	具体的評価規準		努力を要する生徒への支援
					A	B	
1	ソフトウェアの機能と利用の仕方を知ろう	関心	・機能を選択し操作する	・情報を整理、加工するなど機能を調べることができる。	・情報を整理、加工する方法を調べ、機能を適切に利用することができる。	・情報を適切に整理、加工する方法を調べることができる。	・特徴的な機能を知らせることによって独自の発想を出せるようにする。
1	Web ページの構成を考えよう	知識	・ページの構成をまとめる	・情報の表現(構成)や発信の方法が説明できる。	・情報の表現や発信の方法を具体的に説明できる。	・情報の表現や発信の方法を簡単に説明できる。	・3つのページで構成することを理解させる。
1	トップページをつくらう	工夫	・トップページづくり	・簡単な情報について自分なりに工夫して組み立てている。	・簡単な情報について内容のつながりを考えて工夫し組み立てている。	・簡単な情報について自分なりに工夫し組み立てている。	・どんな情報を誰に伝えたいかといった過程を踏まえて考えさせる。
1/1	自己紹介のページをつくらう	知識 工夫	・分かったことの発表 <学習シート> ・紹介ページづくり <机間指導>	・個人情報の扱いについて説明できる。 ・情報をわかりやすく伝えるための工夫ができる。	・個人情報扱いについて注意点を説明できる。 ・わかりやすく伝えるための効果的な工夫ができる。	・公開した場合の危険性について説明できる。 ・わかりやすく伝えるための工夫をしている。	・光と影の部分を正しく理解させる。 ・わかりやすく伝えるためのポイントに気づかせる。
2	写真で紹介するページをつくらう	工夫 技能	・写真で紹介するページづくり	・収集した情報の関連付けを行い情報を処理することができる。	・素材を生かしながら適切な機能を活用し情報処理することができる。	・素材を生かし試行しながら機能を選択して情報処理することができる	・ソフトウェアの特徴的な機能を知らせることでまとめさせる。
1	全体の構成を見直そう	工夫 技能 知識	・全体の見直し	・各ページの関連を考え、見る人の立場にたったページを作ることができる。 ・素材の著作権について理解している。	・見る人の立場にたって判りやすく伝える工夫ができる。 ・著作権について理解し利用できる。	・自分なりにわかりやすく伝える工夫をしている。 ・制作の著作権について説明できる。	・わかりやすく伝えるためのポイントに気づかせる。 ・事件や事故を提示し気づかせる。
1	発表、発信しよう	関心	・完成した作品の発表	・完成した作品を効果的に発表する。	・効果的に発表すると共に他者の情報も受け入れようとしている。	・情報を発表すると共に他者の情報も受け入れようとしている	・他者の発表から工夫した点や発表の仕方を学ばせる。

4. 本時の指導

(1) 研究主題とのかかわり

ア、基礎基本の重点

- ・ 情報を取り扱うときの注意について考え、わかりやすく伝えるための工夫ができる。

イ、課題解決を図るための指導過程の工夫

- ・ 導入では生徒作品を紹介し関心を持たせ、さらに展開ではインターネットを利用してさまざまな事例について違いを調べさせている。

ウ、評価を生かした指導の工夫

- ・ 調べて分かったことを発表することによって、個人の考えを全体のものにしていきたい。

エ、定着を図る工夫

- ・ 調べて分かったことを自己紹介のページに生かせるような展開にしている。

(2) 本時の展開

段階	学習過程	学習内容・学習活動	指導上の留意点	評価
導入 10分	課題の設定	1. 自己紹介のページに関心を持つ。 2. 本時の学習課題を把握する。	・ 昨年度の作品をディスプレイで紹介する。 ・ ×問題から本時の学習課題に気づかせる。	
		自己紹介のページはどのような内容にしたらいだろうか。		
展開 30分	課題の追究 課題の解決	3. Web サンプルを見ながら課題について調べる。 名前、生年月日、住所、電話番号、写真などはどのように紹介されているだろうか。 個人情報を公開したときどのようなことが心配されるだろうか。 参考になる内容は？ 4. 調べて分かったことをまとめる。個人情報の取り扱いについて考える。 5. 当初の予定に修正を加えながら自己紹介のページ内容を入力する。 6. 文字の大きさ、書体、色を工夫して見やすくする。	・ Web サンプルのプロフィールのみとし仕事と個人で利用しているものの比較をさせる。 ・ 学習シートの課題にそって調べまとめさせる。 ・ 調べて分かったことを発表させる。 ・ 入力した情報には責任を持たせる。 ・ テンプレートの変更はさせずに入力内容のみを考えさせる。	・ 個人情報の扱いについて理解することができたか。 <知識・理解> 学習シート ・ 情報をわかりやすく伝えるための工夫ができたか。 <工夫創造>
終末 10分		7. 友だちの作品を通して自分の制作品を振り返る。	・ 友だちの作品から、より完成度の高いページに仕上げていく気持ちを持たせたい。	

